

午後 試験

各問の設問アではプロジェクトの概要を問うているが、システムの機能や構成などだけの論述があった。プロジェクトの概要の一般的な事項は、答案用紙の“論述の対象とするプロジェクトの概要”に記入している。設問アでは、各問に応じて更に具体化したプロジェクトの目標・スコープ、体制、遂行上の制約事項や、プロジェクトにおける受験者の立場と責任などをよく認識した上での論述を期待したい。また、設問ウでは、設問の要求である設問イの活動などとは関係なく、プロジェクトに関する評価や今後の改善点を論述しているものもあった。設問の要求内容をよく理解してほしい。

問 1（情報システム開発におけるプロジェクト内の連帯意識の形成について）では、プロジェクトにおける連帯意識の形成の重要性を理解していることがうかがえる論述が多かった。チームビルディングの観点からの論述を期待したが、目標の共有や参画意識の向上のための具体的な活動や仕組み作りには触れず、手段としてのコミュニケーションの円滑化についてだけの論述も一部に見られた。

問 2（情報システム開発におけるプロジェクト予算の超過の防止について）では、設問が要求している趣旨を踏まえた論述は少なかった。費用管理の仕組みに反映される前に発見した兆候についての論述を期待したが、顕在化している問題点についての論述が多かった。また、プロジェクトの目標を守ることを前提に実施した対策については、題意に反して予算や納期を変更する論述も見られた。

問 3（業務の開始日を変更できないプロジェクトでの変更要求への対応について）では、変更要求への対応を経験していることがうかがえる論述が多かった。プロジェクト遂行中に発生した変更要求への対応における検討の観点についての論述を期待したが、設問で求めた観点には触れておらず、検討した内容と結果の説明に終始している論述なども一部に見られた。